

# わたしの 妊娠報告書

記載日 平成 28 年 1 月 4 日

おめでた宣言日	27 年 5 月
年齢 ( 39 ) 歳	平成 ( 24 ) 年 ( 3 ) 月 結婚
私は ( 顕微受精 )	で妊娠しました。

不妊治療歴	( 2 ) 年 ( 6 ) ヶ月
他院での治療歴	( なし ) あり→内容 ( )
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 ( 6 ) 回 ?	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 ( ) 回 ?	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 ( ) 回 ?	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 ( ) 回 ?	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 ( ) 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 ( 4 ) 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 ( 5 ) 回	

## 妊娠の秘訣・心がけていた事

上司には不妊治療をする事をはじめから伝えてあったので、「しっかり  
取り組んでらいいよ」という言葉もいただきました。なので治療中は仕事の  
役割分担についても配慮していただくことができました。  
もともと冷え症なので年中飲み物は温かいものを飲むように  
するのと、腹巻きをするようにしていました。血のめぐりをよくするため  
仕事でも階段を使うように心がけました。

# わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

ステップアップする度に、先生や看護師さんから丁寧に説明とさせていただいていたので、安心して治療に臨むことができました。妊娠9週目で貴院と卒業することになりましたが、長い間お世話になっていたので、病院を変えることに不安を感じました。お忙しいのはわかっていますが、産科もあつたらいいなと、フッフー思っていました。

その他（通院・治療費・家族など）

40才から治療をはじめたので、治療費ではなく、45才までは治療を続けておようと決めていました。病院は仕事場から、車で15分ほどかかりますが、夜は20時まで、日曜も受付で下っていたので通院することができました。先生や看護師さんは遅い時間まで大変だと思いますが、感謝しております。

治療中の方へのアドバイス

治療のはじめごろは、きちんと治療費を記録していたのですが、治療が長期化するにつれ、落ち込むことが多くなり記録をしないことに決めました。その後とて自ラクになりました。着床したときは「次いってみよう」という気持ちになりました。

スタッフへのご意見など

長い間貴院にはお世話になってありがとうございました。おかげで治療を続けられたのも、先生や看護師さんの支えがあったからです。胚盤胞まではいいのですが、なかなか着床しないときは「予定は通過するんですけどね、あと一歩」と先生は淡々と伝えて下さったおかげで結果を重たく受けとめずに済みました。感謝しております。